

掲示板

◇保存・特別保存審査について

当協会は両国への移転のため審査業務を休止いたします。10月(刀装・刀装具)より受付を再開いたします。詳しくは表2をご覧ください。

◇審査結果及び鑑定書発送の予定

3月受付の刀剣の審査の結果通知書は、6月中旬頃発送予定です。鑑定書の発送につきましては、8月下旬頃を予定しております。

◇人事異動

4月1日付
小菅 太一 学芸部博物館事業課勤務を命ずる
釘屋奈都子 学芸部たたら・伝統文化推進課勤務を命ずる
武田耕太郎 学芸部博物館調査課勤務を命ずる

栄 誉

協力団体筑後支部長の大橋忠生氏は、2月18日、多年にわたる福岡県銃砲刀剣類登録審査員としてのご功績により、福岡県教育委員会から福岡県教育文化表彰を受けられました。

◇伝位の授与について

公益財団法人日本美術刀剣保存協会伝位授与規程第三条第一項に基づき、3月13日付で次の2名の方の伝位授与が決定しました。

刀剣の部(敬称略)

中伝位 大分県 二ノ宮清一

刀装具の部(敬称略)

中伝位 宮城県 佐藤一典

◇日本刀鑑賞マナー講座

募集中の日本刀鑑賞マナー講座は次のとおりです。

6月10日(第2土曜日)午前11時から正午

会場 刀剣博物館 四階 講堂

参加費 一、〇〇〇円

参加ご希望の方は申請書をご請求のうえお申し込みください。先着順になります。

修了された方は同日午後一時から開催の定例鑑賞会にご参加いただけますが、初回に限り見

学参加の場合は無料になります。

定例鑑賞会は予約の必要はありません。

定例鑑賞会 一般 三、〇〇〇円

会員 二、〇〇〇円

学生(学生証提示)一、〇〇〇円

※参加費は当日受付でお支払いください。

なお日本刀鑑賞マナー講座及び定例鑑賞会は、移転のため6月10日を以てお休みし、11月から両国の新博物館において再開いたします。

◇刀職技能訓練講習会のお知らせ

刀剣類の制作技術の継承及び向上を図ることを目的に昭和62年から開催しております標記講習会は本年も次の要領で開催いたします。

講習科目及び実施日

①柄下地の部(募集人員10名程度)

②刀装金具の部(募集人員20名程度)

日 程 6月22日(木)～6月25日(日)

4日間 2部門同時開催

曜日にご注意ください

参加資格 現在及び将来において、刀職者として自立する強固な意志のある方

実施会場 備前長船刀剣博物館

岡山県瀬戸内市長船町長船九六六

講 師 柄下地の部 三谷修史講師

刀装金具の部 羽川安穂講師

講習テーマ 柄巻の部 柄下地の基礎技法

刀装金具の部 縁頭の基礎技法

受講料 無料

宿 泊 西大寺グランドホテル

岡山市東区西大寺中二一―二一九

シングル一泊朝食付六、五〇〇円(税込)の

予定です。お申込の方には事前にご希望を伺

い、協会で一括して申し込みます。

申込方法

当協会事務局まで「申込書」をご請求のうえ、

5月26日(金)必着(締切日厳守)でお申し込み

ください。

◇『改編重要刀剣等分類目録』
配布(贈呈)について

先月号でお知らせしたとおり、協力団体を対象に贈呈するものです。

ご希望の協力団体代表者は、ハガキに必要冊数を明記の上、4月28日までに代表者名により協会総務課まで申請してください。

冊数をご希望に添えない場合がありますので、予めご了承ください。

◇『刀剣美術』原稿募集

『刀剣美術』誌では、会員の皆様からの原稿を常時募集しております。

論文 次の要領でお願いいたします。

1 日本刀(刀装・刀装具を含む)等に関することを学術的に研究したものであること

2 推論、創造論については、相応しい資料の裏付けがあること

3 論文としての体裁が整っていること

4 出版物から転載する場合、著者の了解を得、出典を明記すること

5 すでに公表されている論文、第三者を誹謗中傷する内容のもの掲載の対象としない

郷土刀紹介 郷土の刀工・金工等、その作品をご紹介ください。枚数自由。必ず押形・写真等の資料を添えてください。

協力団体の活動報告(支部だより)・随想・出会い等もお待ちしております。

お寄せいただいた原稿は、月一回行われる編集会議で協議し、その結果をご連絡いたします。